



開催に先立ち、1 月 23 日（月）に県庁（水環境課）を訪れて、担当者の方と発表の段取りに関する事前の打合せを致しました。会場の市民会館うらわのホールはおよそ 500 人入りとのことで、それから前日まで講堂や講義室を使用させて頂き練習を繰り返しました。

↓ 以下、当日の様子です。



当日は、理科学研究部のために控室をご用意頂きました。開会前のひととき（開会の 30 分程前）、壇上で話す内容について緊張しながら確認し合っていました。

11 時 県立浦和第一女子高校アナウンス部の司会により開会、
県立松山女子高校の音楽部の合唱、埼玉県環境部長の挨拶（写真 左）、
川の国埼玉宣言（写真 右）と進みました。



「川の国埼玉宣言」は、本校理科学研究部の 2 人が担当させて頂きました。



→ 宣言のスピーチと掛け声は次のページに。

川の国埼玉宣言

○・・・高1 田中健太

△・・・高1 長澤啓太

□・・・二人

(スピーチ)

□こんにちは。栄東高等学校理科学研究部です。

△私たち理科学研究部は芝川の調査を、先輩方から受け継いで長年おこなっております。私とタナケンは中学二年生の時に芝川の調査に初めて参加したのですが、、芝川のことを始めは、単なる学校の近くの川、ですとか大した特徴もない川と思っておりました。芝川に対する興味がほとんどない状態でした。

○しかし、中学二年生から高校一年生の今までずっと芝川の調査に関わり続けてくると、不思議なことですがただの川と思っていた川にも愛着のようなものを感じるようになってきました。今では芝川のおおよその形が頭に浮かべられるほどです。

△さて、このようにして芝川に愛着をもった私たちですが、やはりその愛着からか芝川は綺麗であってほしいと思うのです。ただ綺麗になってほしいと思うだけでは綺麗にはなりませんので、理科学研究部では芝川の調査だけでなく、美化活動にも取り組んでいます。

○現代では環境汚染は都市の発展に付き物となっております。いろいろな都市開発が進む中、川を綺麗にするのは難しいかもしれません。実際にそういった声も頂いております。しかし、それでも私たち理科学研究部は芝川に綺麗であってほしいと願い、またそのために行動するのです。

(掛け声)

□　きれいな川を次世代へ　川の国

全員　埼玉！

□　川の国

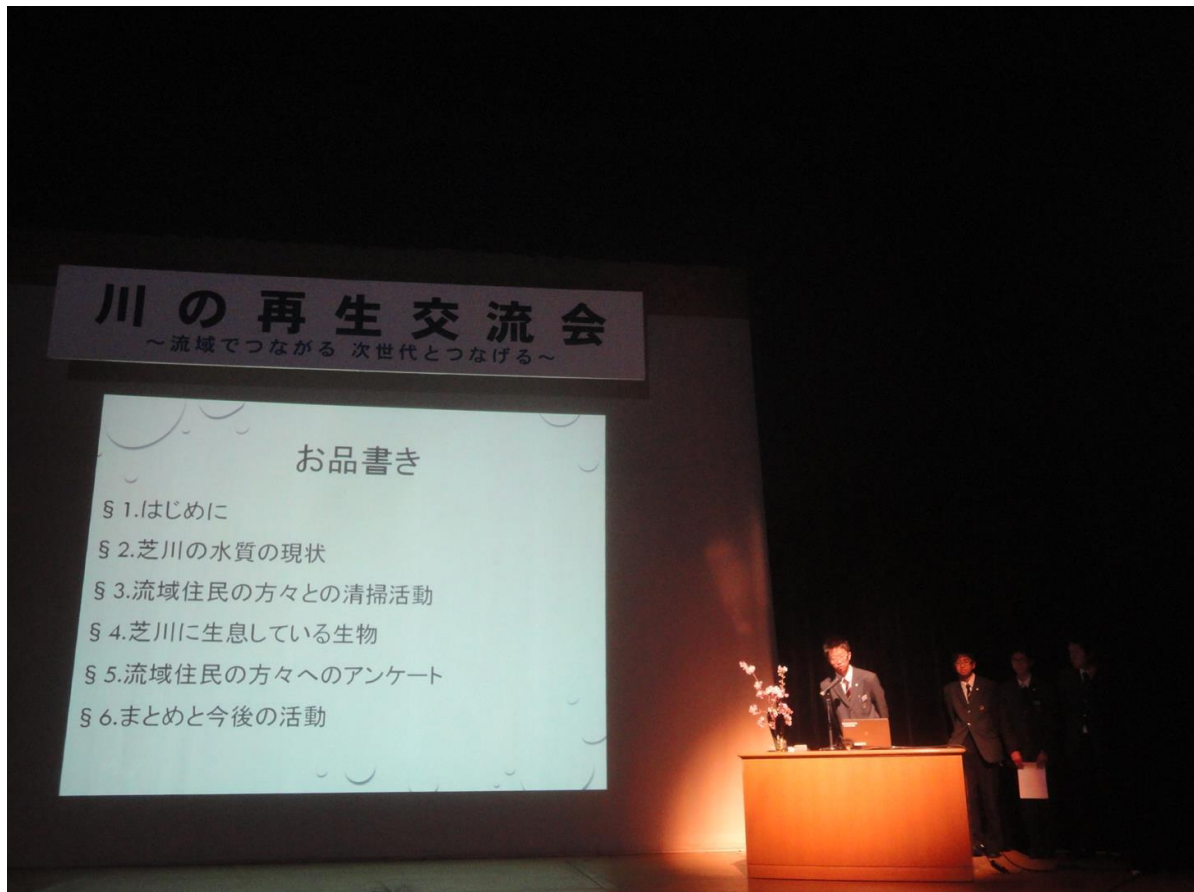
全員　埼玉！

□　川の国

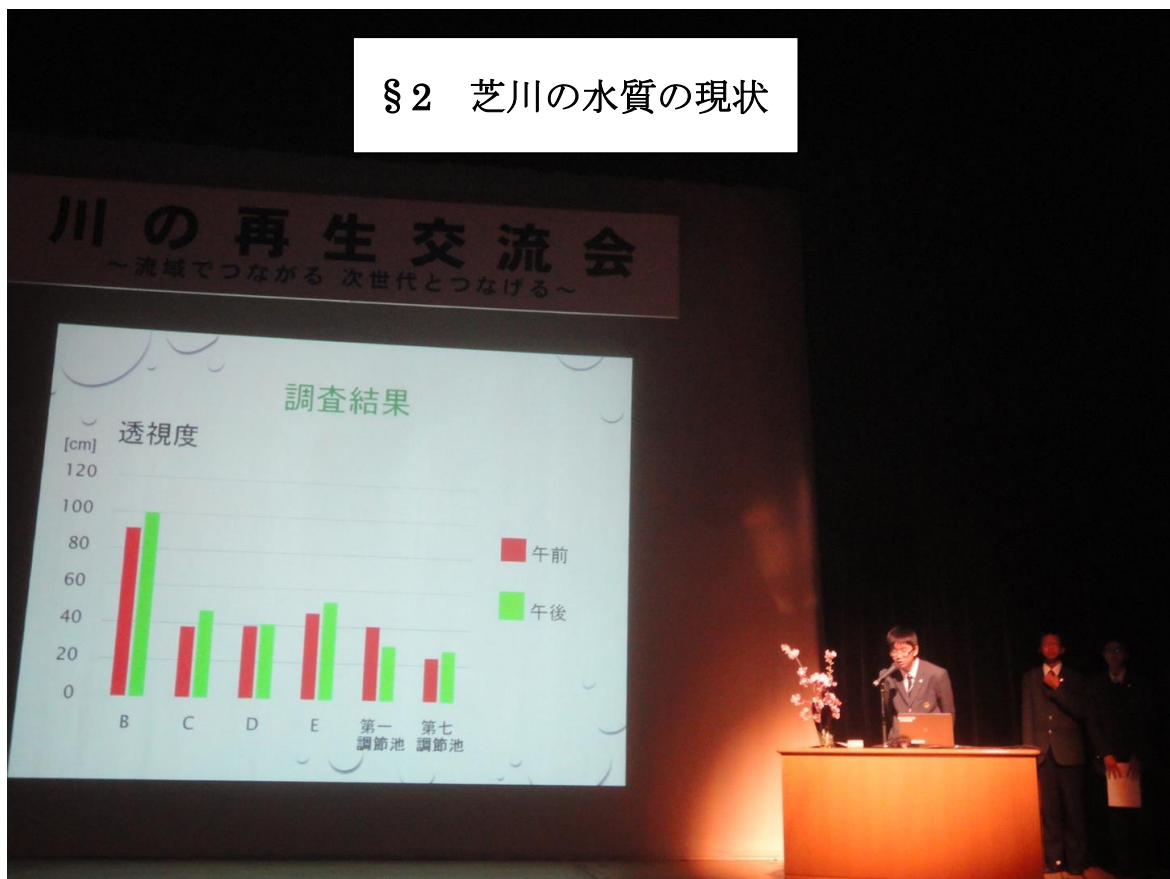
全員　埼玉！

講演：「2011 年から継続している芝川の上流から下流までの調査」

高2 齋木悠亮 高1 田中健太・広川周作・長澤啓太



5人で発表予定のところ、高2生の部長が体調不良で参加出来なくなりましたが、4人の生徒でカバーし合って臨機応変に講演を進めました(客席から安心して見ることができました)。



§ 3 流域住民の方々との清掃活動

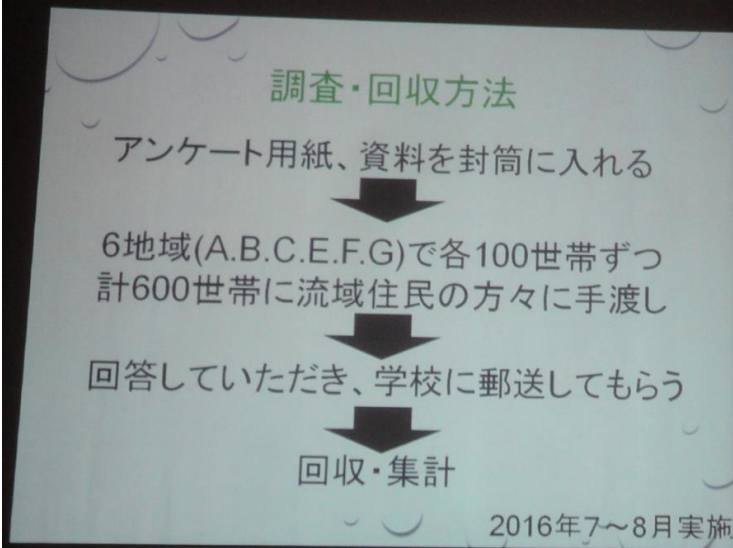


前日の夕方になって急きょ、この§も担当することになり、一部言い忘れがあったものの、しっかりと話すことができました。

§ 4 芝川に生息している生物



§5 流域住民の方々へのアンケート



高2生の発表者は1人でしたが、前の§で高1生が一部言い忘れた部分をフォローする説明も臨機応変に付け加え、先輩としての役割を果たしていました。

自然と4人の連携が取れた20分間の講演は、最高のステージとなりました。

※当日に至るまで、私が見ていないところでも、いろいろな苦勞があったのかもしれません。

講演の準備をする過程で、各人が成長できたことも良かったです。

川の再生交流会

～流域でつながる 次世代とつなげる～

今後の展望

芝川環境を保護・改善するために、、、

・ゴミのポイ捨て・不法投棄

・ペット個体や購入・譲渡個体の放逐・放流

これらを芝川の重要性を訴えることで
減らしていきたい



発表者以外の中高の部員や卒業生も来場してくれました。(昼休み、控室にて集合写真)
 午後は4つの分科会に分散して参加をし、今後の研究にも参考となる情報を得られました。



← 講演後の昼休みは、休む間もなく次の仕事を。。

3月末に発表をする日本化学会の予稿原稿の
 〆切が、2月6日(月)に迫っていました。

おかげさまで、無事に終了することができました。各調査の実施から講演の準備に至るまで、皆様のご理解・ご協力に改めて深く感謝申し上げます。ありがとうございました。(顧問 荒井賢一)